

奈良県川上村の「今」を伝える現在進行形マガジン

川上 ng

住まい号

～かわかみんぐ～

田舎暮らし×職+住



川上村の集落では、多彩な自然に寄り添うように人々が暮らしています。

家々の建ち並び方も様々です。都会の住宅街のようにすべてが同じ方向を向いて、同じ形をしているということはありません。住む方の暮らしに合わせて家も土地も使われています。

ぜひ一度、川上村の集落を訪ねてください。街にはない個性豊かな生活が待っています。

あなたも川上村を第2のふるさとにしませんか。



Kawa
kami
Village Nara

川上村は 水のふるさと そして 第2のふるさと

室町時代に遡る吉野林業の歴史

吉野林業発祥の地・川上村では、約500年間にわたって植林が進められてきました。広大な面積のほとんどが山林で、山を望めば、日本三大美林の一つに数えられる吉野杉の美林が広がっています。現存する最古の人工林「下多古村有林－歴史の証人」は、県内で初めて文化庁の「ふるさと文化財の森」に選定されました。

いのちを守り伝える吉野川源流－水源地の森

吉野川の源流部には、手つかずの天然林「原生林」が残されています。村では雨を蓄え、川をなし、あらゆる命を支える貴重な原生林を後世に残すため、約740haの原生林を購入し、「水源地の森」として守っていきます。

※一般の方は入山できません。森と水の源流館が主催する「水源地の森ツアー」にご参加ください。

水源地の村

みなさんの“からだ”とつながっています。

川上村をご存知ですか？名前のとおり、川の上流にある村。吉野川（紀の川）源流の村です。ここから生まれた水の流れは、遠く離れた大和平野も潤しながら和歌山の海へと至ります。

小さな村ですが、かけがえのない水をお届けする大切な役割があり、できるだけきれいな水を届けられるよう、環境を意識した村づくりに取り組んでいます。

水を育む森があり、森を育む営みがあり、自然に生かされる暮らしがある。そんな川上村を是非一度見に来てください。

私たちのからだの約65%は水です。

あなたのなかにも川上村の水がめぐっているかもしれません。



嶋谷さんセルフポートレート

●困っていることなどはありますか？
今のところ困っていることはなく、まわりの風景を撮影したりしています。地域の人々に

●川上村での暮らしはどうですか？
もともと大阪で暮らしていましたが、人との距離がありました。隣に住んでいる人もよく知りませんでした。

●7月1日から「一般社団法人かわかみらいふ」が設立され、川上村で働くことになりました。お客さん、スタッフさん、みんないい人で楽しく勤めています。



嶋谷さん撮影 高原集落

●その他
多くの村民と知り合いになり、信頼関係を築いていきたいです。川上村での生活は、9月に生まれた子どもにとっても、かけがえのないものになると思います。

移住 川上村で暮らし始めて...

嶋谷 元さん

(平成28年5月に移住)

●移住したきっかけは？
子どもができたのがきっかけで、水がきれいなところで住みたいと思うようになった。
28年2月の川上ingツアーに参加し、プログラムに予定してなかった空き家の見学をしていただいたり、柔軟な対応をしてくれました。トントン拍子で住宅も決まり、役場の方には感謝しています。

お世話になりながら、その巡りあわせの中で、暮らしていくことができています。

●移住を計画されている方にアドバイスを
検討するなら一度現地に行くべきだと思います。実際に思っていた場所と印象が違ったりして不安になるかもしれません。その不安をどのようにして楽しみに変えていけるかだと思えます。移住した地域に溶け込む気持ちが大事ですね。

川上ing

～かわかみんぐ～

川上村移住・定住促進プロジェクト

『仕事と住まいのワンセットプロジェクト』が発足しました。

その名も『川上ing 作戦』

川上村にきたい人、住みたい人を役場若手職員が全面的にバックアップ。『職』のご相談から『住』のご紹介まで、皆さんの不安を解消し、期待に応えます。山遊び、川遊びの相談にも乗りますよ！川上村のことは私たちにお任せください。

川上村ってどんなところ？

仕事はあるの？

移住をサポートします！



水源地課 大辻 孝則

家は？

就職先を一緒に探します！



地域振興課 堀谷 敦

家賃は？

川上の良さを伝えます！



総務課 玉井 孝明

子どもの教育は？

家を紹介します！



定住促進課 森本 倫巨



助成制度を沢山用意しました！



総務課 垣内 良太

子育てのご相談ください！



住民福祉課 石田 智子

川上村の暮らしを教えます！



定住促進課 杉田 好平

買い物は？



かわかみらいふ号の前で
菅さん（左）
嶋谷さん（右）



移住

川上村で暮らし

はじめて・・・

菅 義浩さん

（平成27年8月に移住）

ので、利用しています。
不便なところもありますが、困ったことは近所の方が親切に教えてくれます。この自然に囲まれたの生活は、それを上回って良かったと実感しています。

●移住したきっかけは？

テレビで奈良県の過疎化の内容を見たのがきっかけでした。大阪から奈良へ遊びに行く機会も多く、「観光で奈良に行く」から「奈良に移住したい」と考え始めました。

川上ingツアーに参加し、普段見れないところも見せてもらえたり、交流会で先輩移住者の話を聞いて、川上村へ移住する気持ちがより強くなりました。

ツアー後にも学校見学などで何度か川上村へ足を運んだのですが、役場の方にはいろいろと対応してもらいました。

●川上村での暮らしはどうですか？（困っていることや良かったことも）

以前は大阪で住んでいたのですが、コンビニが近くにあり、行く機会も多かったのですが、今では車で30分ほど。なかったら生活にも困らないですね。

買い物は桜井市まで行き、1週間分まとめて買っています。足らず分は移動スーパーが来る

●その他

割り箸の製造をしています。これだけで生活するのは厳しいです。村内で木工の仕事をしたりしていました。

8月からは、「一般社団法人かわかみらいふ」で働くことになりました。
移動スーパーで村内各地を回っています。地域の方に喜んでもらえるように頑張っていきます。



菅さんの家の前の風景

川上村移住者数

平成25年度	5世帯	10人	(内子ども3人)
平成26年度	3世帯	9人	(内子ども2人)
平成27年度	4世帯	12人	(内子ども5人)
平成28年度	5世帯	9人	(内子ども1人)

平成28年10月31現在

定住

集落紹介 北和田

北和田区長 大浦利治さんにお話を聞きました。

●北和田区について教えてください。

川上村の東部地区に位置しています。

42世帯83名が生活をしています。

(平成28年10月31日現在 住民基本台帳)

●区長さんの仕事は主にどのようなことをしていますか？

区民の方の相談や困りごとなどの話し相手をしています。各家庭に電話をしたり、家を訪問したりと、確認も行っています。

区の行事や問題などがあつたりすると、役員会を開き、役員に何事も相談してみんなで決めるようにします。やはり区長が独断で決めると区長のやる気も落ちてくると思うので、もちろん区長として最後の責任は持っていますよ。

また、村から依頼があれば、区長会が開かれ、

いたいし、一緒になって和気あいあいとしていきたいですね。

また、移住者の皆さんからは区にしてほしいことを率直な意見で言ってもらいたいです。

●北和田のPRをお願いします。

「北和田は人が集まるところなのかな。」と思います。

北和田には小学校があつたのですが、平成15年3月に閉校となり、平成23年から大阪工業大学の源流分校として学生たちが教室などの改修工事を行い、小学校を環境学習や憩いの場として新たに利用しています。また毎年8月には、剣道交流大会が開催され、県内外から多くの人



源流分校 武道場での剣道交流大会

区民に連絡することも行っています。村と区との橋渡しでもあります。区長として2期目ですが、やはり区民の協力がないと区長はできないと思います。

●地域でどのような活動をしていますか？

8月には盆入足で草刈りなどを区民全員で行



北和田区長 大浦利治さん

います。また11月の秋祭りでは、前日から神社の掃除や餅つきを行い、当日には景品付き餅まきやビンゴゲームなどをして、多くの区民で盛り上がっています。

北和田区だけでなく、近隣の区と合同で東部地区の盆踊りも実施しています。自分達で準備をして、店を出し、みんなが一体となっている盆踊りは今後も続けていきたいです。

●移住者が来て、感じることを、してほしいことはありませんか？

役場を通じて5組18名(内子ども7名)の方たちが北和田に移住してくれました。

まず、子どもの声が聞こえるようになりましたよ。子ども達の笑い声などを聞いていると嬉しいですね。

移住者の方は、区の行事にも積極的に参加してくれ、区民とのコミュニケーションをとってくれています。

北和田には移住者が多い。そんな声を近隣の区長から言われることもあります。

●どのような方にきていただきたいですか？

どんな形であっても北和田に来てもらえたら嬉しい。住んでくれたら、区の協力をしてもら

が北和田に集まっています。

ふれあいセンターも一般社団法人かわかみらいふができて、スタッフも常駐してくれているから、気軽に行くことができ、コーヒーを飲みながらみんなと話ができます。

子どもから大人まで、いろいろなところで集まることができる。川上村を訪れるときは、北和田にもぜひ来てください。



東部地区の盆踊り



北和田区集落

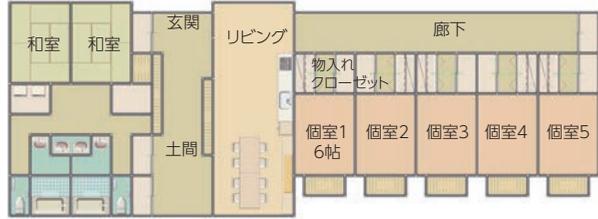
人知シェアハウス

川上村定住への足掛かりに

人知シェアハウスは、川上村で田舎暮らしや起業、林業等の仕事のために移住を考えている18歳〜40歳までの若者のための住宅です。

このシェアハウスでの生活を通じて川上村の暮らしに慣れ親しんでもらうことを目的とし、川上村への定住の足掛かりとなる施設として活用します。

構造：木造平屋建て
延床面積 61坪 (約200㎡)
吉野材（無垢材）使用量
杉 28.76㎡
桧 6.70㎡
総使用量 35.46㎡



川上らしさのある家

・土間のある暮らし
川上村の家には土間かまどがあり、土間は先人の知恵から生まれた空間で、調理や道具の手入れ、自転車などを収納したりと様々な使い方をしてきました。

・木のある暮らし
川上村は三大人工美林に数えられる川上産吉野杉をふんだんに用い、木の良さ、温もりを生活の中で感じてもらいます。



広々としたダイニングキッチンです。入居者の交流・団らんの場として利用していただきます。
テーブル・イス・カウンターは吉野杉工房で制作し、川上産吉野杉を使用しています。

ダイニングキッチン



外観



個室 プライバシー空間をしっかりと確保。自分だけの時間も過ごせます。



入居概要

対象者：18歳から40歳までの単身者
家賃：12,000円
共益費：6,000円
敷金：家賃3ヵ月分
入居期間：最長5年
備品：エアコン・簡易ベッド・シーリングライト



生活 一般社団法人 かわかみらいふ

村民の日々の暮らしを支え
川上村を元気にする「かわかみらいふ」
取材しました。

●一般社団法人かわかみらいふとは

東部地区にある川上村ふれあいセンターをリ
ニューアルし、「コミュニティカフェ」や「出
張診療」、「卓球などのサークル活動支援」など
を実施しています。

スタッフはすべて村民から採用しており、新
たな雇用の場の創出や生きがいがづくりに繋がっ
ています。

さらに、買い物支援として地域のスーパー「吉
野ストア」と生協「ならコープ」と連携し、食
料品などを中心とした移動スーパー運行と宅配
事業を行っています。

●かわかみらいふの仕組みについて

ふれあいセンターの運営

かわかみらいふの拠点施設として、村民が気
軽に集う場づくりを目指しています。

・開館日：月曜日・金曜日

・常にスタッフが常駐しています。

・移動スーパー運行と宅配事業の拠点となりま

卓球サークルを立ち上げたり、自主的に体操教
室を開催するなど、健康づくりの拠点の場とし
ても活用されています。

●移動スーパー「かわかみらいふ号」のスタッ フに聞きました。

各地区に行くといつも利用してくれる方がい
て、顔も覚えてもらっています。気軽に話しか
けてもらえるし、たわいもない話もよくしてい
ます。

買い物に来てくれた方が、「晩ご飯どうしよ
うかな?」「今日は天気いいな」など、この「か
わかみらいふ号」での買い物ついでに小さなコ
ミュニティができているなと思います。

また、地域によって必要となる物が違ってき
ます。季節が変わっていくと何が必要になるの
かを日々改善していき、買い物に来てくれる方
に満足してもらえるようにしたいです。

地域の方から「お買い物を楽しいね。」とい
う声を聞くとみんなの暮らしの役に立っている
んだという実感があります。

●「かわかみらいふ号」のお客さまに聞きました。

車もなく、普段買い物に行けないから、来て
くれるのはとても嬉しいです。食べたい商品は
持ってきてくれるし、買った品物が重いと
きは家まで運んでくれるので、とても助かっ
ています。



移動スーパーかわかみらいふ号
小雨交じりの中、買い物に来られた地域の皆さん

す。
・役場と連携して、出張診療や健康教室を開催
しています。
・コミュニティカフェを運営しています。
・自主活動、サークル活動の場として利用でき
ます。

移動スーパー運行・ならコープの宅配代行

吉野ストアと連携した移動スーパー・かわか
みらいふ号は村内の全地区を回り、生鮮品や日
用品、ごみ袋などを販売しています。

また、ならコープの宅配事業を受託し、皆さ
んが注文した品物を長い階段があるご自宅や駐
車場から距離のあるご自宅までお届けしていま
す。

高齢者や一人暮らしの方の見守り

村民スタッフが移動スーパーや宅配で各地区
へ出向く機会に合わせて、ご自宅への訪問時に
声かけを行い、見守りとともに生活のお困りご
とをお聞きするなど、顔の見える行き届いた支
援を行います。

小さな活動ですが、住み慣れた村だからこそ、
村民による、村民の日々の暮らしのサポートを
心がけています。

健康づくり・体操教室

ふれあいセンターでは、大きな集会室や和室、
調理室も完備されています。近所の方が集まり



重い品物のご自宅までお届けします



ならコープの宅配代行
訪問時に声かけ等を行い、
見守り・生活サポートを
行っています





川上住まいるネット (空き家バンク)



庭、駐車場付きの広々とした
空き家です。
ファミリー層の方におすすめ
です。

住まいるネット
空き家番号62番



住まいるネットホームページ
http://www.vill.kawakami.nara.jp/n/smile_net/



住居

川上村の 空き家を 紹介します

田舎には古いけれど味わいのある家がたくさん
あります。どう住みこなすかはあなた次第です。



川上住まいるネット (空き家バンク) とは…

村内の空き家の有効活用として田舎暮らしを希望する都市部の方に、賃貸可能な空き家を紹介することで、移住を促進し、人口減少に歯止めをかけるとともに、集落の活性化を図ることを目的としています。

登録から契約までの流れ…

1. 登録

「川上住まいるネット」の空き家情報には、川上村で現在借り手を募集している物件の情報を掲載しています。気に入った物件がありましたら、まずは登録申請をしてください。役場担当者よりご連絡いたします。

※登録の条件として、地域の行事や、ご近所との付き合いをしてくれる方に限ります。

2. 現地見学

気に入った物件があれば、あるいは川上村のことを知りたいと思ったら、その旨をお伝えください。役場担当者が、物件や川上村の見学、移住者との面談にご案内します。実際に物件を見てもらって、気に入ったら、所有者を紹介します。

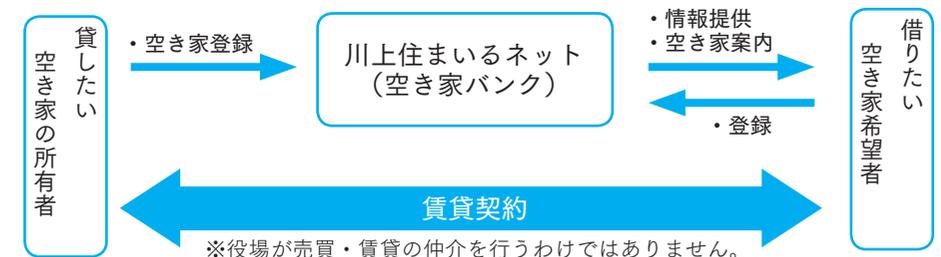
3. 契約

役場が賃貸の仲介を行うわけではありません。その後の交渉は、所有者と直接交渉を行っていただきます。ただし、役場は交渉において、賃貸借契約書（川上村役場作成）の利用をお勧めしております。

4. 川上村での生活スタート

いっばいの自然に囲まれて四季の変化を五感で感じられる川上村での生活は、かけがえない家族と過ごす時間を有意義なものにしてくれるに違いありません。

活気にあふれる明るい村づくりにもご参加いただきながら、新しい人生を大いに楽しんでください。



田舎暮らし



職 + 住

奈良県川上村の「職と住」をご紹介します 川上ingツアー開催

川上村が総力をあげて、田舎暮らしを応援します。
田舎で暮らしたいけれど仕事が心配・住まいが心配。
そんな田舎ぐらしの心配にお応えします。
川上ingツアーは、川上村の職と住、
生活環境などを若手職員がご案内します。
ミニツアーは“随時”開催しています。

「川上ing ツアー」のお申し込み・お問い合わせはお気軽にどうぞ

< 川上村役場 > ☎ 0746-52-0111 「川上ing ツアー係」とお伝えください

川上ing 発行：川上村定住促進課

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫 1335 番地の 7

かわかみんぐ

検索

<http://kawakaming.com>

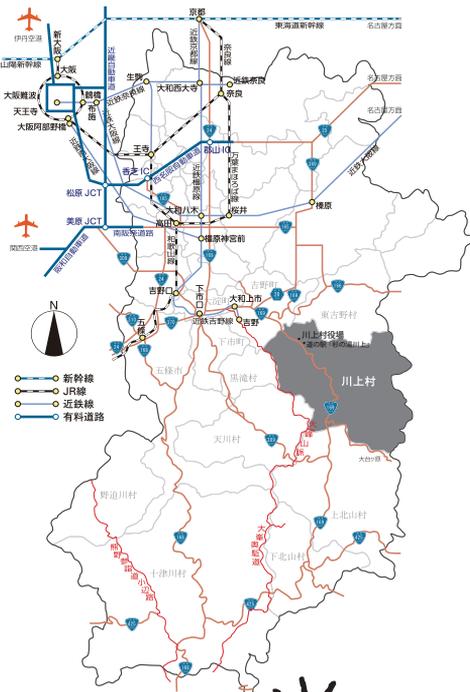


●近鉄電車で

大阪阿部野橋	近鉄特急約 1 時間10分	大和上市 コミュニティバス 約40分
京 都	近鉄特急約 1 時間35分 (橿原神宮前のりかえ)	
近鉄名古屋	近鉄特急約 2 時間50分 (大和八木・橿原神宮前のりかえ)	

●車で（南阪奈道路・西名阪自動車道・名阪国道から）

葛城I.C	R165（大和高田バイパス）→橿原市→R169 約 1 時間
郡山I.C	R24→橿原市→R169 約 2 時間
針I.C	R369→宇陀市→R370→吉野町→県道16・262→R169 約 1 時間10分
柏原I.C	R165→県道30→御所市→R309→大淀町→R169 約 1 時間30分



川上村(迫)

川上ing[®]

～かわかみんぐ～